

高等部第3学年 生活単元学習 学習指導案

学 校 名	尾道特別支援学校しまなみ分校
日 時	令和7年9月3日(水) 10:45~11:35
場 所	3階 高等部3年1組教室
学 部	高等部
対 象 者	第3学年1組
人 数	6名
指 導 者	教諭 藤森 寛康 (T1) 教諭 柿木 はるか (T2)

1 単元名 「働くことについて知ろう」

2 単元設定の理由

○生徒観

本学級は、高等部第3学年の生徒6名が在籍する知的障害の単一障害学級である。全員が言語によるコミュニケーションが可能な生徒である。助詞の使用や文構成など、文章表現において支援を要する生徒も見られるが、自分の好きなことや苦手なこと、努力していることについては自ら言葉で表現することができ、一定の自己理解・自己分析が進んでいる。

生徒たちは、自身の長所や短所を把握しており、「仲良くできる」「体力がある」「他人に優しくできる」といった長所を認識する一方で、「話を最後まで聞くことができず、会話が一方通行になる」「自分からあいさつができない」「整理整頓が苦手」といった課題を自覚している。

人との関わりについては、対人関係やコミュニケーションに課題のある生徒もおり、相手の気持ちや状況に応じた行動選択が難しい場面も見られる。あいさつや会話の中で自分から声をかけることに不安を感じる生徒や、自分のことを一方的に話しすぎてしまう生徒もおり、実践的な人間関係スキルの育成が求められる。

生活面では、通学に路線バスを過半数の生徒が利用するなど、卒業後の社会生活を見据えた移動手段の習得が進んでいる。一方で、身だしなみ（歯磨き・服装等）に対する意識の低さや、季節の変わり目に体調を崩す傾向のある生徒もいる。これらの要素は、職業生活を継続する上で大きな影響を与えるもので、生活面と進路面を結び付けた指導の重要性が高い。また、睡眠時間が不規則で十分に休養が取れていない様子が見られ、健康管理や生活習慣に課題のある生徒もおり、職業生活を安定して継続するためには生活習慣の確立が重要である。

進路面では、一般就労、福祉的就労（就労継続支援A型・B型）を目指しており、これまでに職場実習、就業体験実習（3日～10日間）を経験している。実習を通して、働くことに対する関心は高まっており、お金を稼いで自分の欲しい物を買ったり、やりたいことを実現したりしたいという意欲は強く見られる。ただ、「社会の一員として貢献する」というような社会的な役割を担う意識はまだ育っておらず、今後の学習の中で育成していくことが課題である。

将来の進路先については全員が前向きに検討しており、進路に対する意識は明確になりつつある。しかし、卒業後の生活や10年、20年後の将来像については、まだ具体的なイメージをもてていない状況にある。こうした成長段階にある生徒たちに対しては、「現在の自分」と「未来の自分」とを結び付けて考えられるように指導・支援を行い、働くことの意義や生き方について主体的に考える力を育成していく必要がある。

○単元観

特別支援学校学習指導要領解説知的障害者教科等編（上）（高等部）（平成31年）において、生活単元学習は、「生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、自立や社会参加のために必要な事柄を実際的・総合的に学習するものである。」と示されている。

本単元は、将来の職業生活へ向けての課題を解決するために、各教科等の中から「職業」を中心に扱う。「職業」2段階A職業生活ア勤労の意義（ア）「勤労の意義について理解を深めること。」、イ職業（イ）㊦「作業や実習において、自らの役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現すること。」㊧「職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えること。」、C産業現場等における実習イ「産業現場実習等における実習で課題の解決について考えたことを表現すること。」の内容を関連付けて展開することで、働くことの意味や自己の成長をより深く実感できるように構成している。

職業生活を継続していく上で重要となる健康管理について、自分たちの実生活に照らし合わせながら考えさせることで、生涯にわたり主体的に生活を調整しようとする姿勢の育成が期待できる。また、実習の振り返りを通して、実習中に指摘された課題や、自ら感じた困りごとについて、「どのようにすれば改善できるか」を考え、必要な支援や、問題解決の方法を学ぶことができる。働くことで地域社会に貢献する喜びや、自分の仕事が社会に役立っているという実感を得ることができ、働くことの社会的な意義を理解することが期待できる。

「自分のゆめみるノート」を教材として用い、自身の成長を振り返る活動を行うことで、良かったこと・頑張ったこと・困ったことなどを点数化しながら、自己の変化に気づき、自己理解を深める機会とする。さらに、未来の自分を想像して理想を思い描くことにより、将来に対する見通しをもたせ、自らの生き方について考えるきっかけを得ることも期待できる。

また、これらの学習を積み重ねることにより、生徒は自己の能力や適性を理解し、社会の中で自らの役割を果たそうとする意欲をより高め、将来の生き方を主体的に考え、進路を選択する力をさらに伸ばすことが期待できる。

○指導観

本校の研究テーマは「児童生徒の主体的な姿を目指す職員研修の在り方～語る会、学ぶ会、交流する会の3つの研修を通して～」としている。

生徒の主体的な姿を引き出すための指導に当たっては、生徒が自らの経験を基に考え、表現する機会を多く設けることで、主体的に学ぶ姿勢を育てることを重視する。

第1次では、進路決定や就労に向けた意識を高めることをねらいとし、「1年後の自分への手紙」や「自分のPRカード」を通して、将来の自分を具体的に思い描く力を育む。生徒一人一人の希望や実習

経験を踏まえながら、働くことへの意識や目的を言語化する支援を行う。

第2次では、職業生活を安定して継続するために必要な生活習慣について考えさせる。健康管理、清潔、身だしなみ、人との関わりをテーマに、自分の生活を振り返り、課題や改善点を自覚させる。生活リズムや、対人距離など、個々の実態に応じた具体的な改善行動をイメージさせる支援を行う。

第3次では、職場実習の経験を振り返り、実習先での学びや課題について自分の言葉でまとめさせる。実習の目標を事前に明確化し、振り返りでは写真や実習日誌を用いながら、自分ができたこと、できなかったこと、次に取り組みたいことを整理させる。課題に対して自分なりの対処法を考える場面では、選択肢を示しながら、生徒自身の気付きや改善への意欲を引き出すことを重視する。

まとめでは、「自分のゆめみるノート」を作成し、これまでの歩みと将来の生活をつなげて考える活動を行う。ワークシートには視覚的な支援（色分け、付箋、吹き出し等）を取り入れ、自分の感情を整理しやすくする。生徒が「働くこと」と「自分の人生」の関係を実感できるよう、実習体験と日常生活の出来事をつなげて考えさせ、働くことの良さや意義に気付かせる指導を展開する。

全体を通して、生徒の興味・関心や、得意な面に着目したり、自発的な活動を大切にしたりし、安心して自分の思いや経験を表現できる環境づくりを行うことで、生徒一人一人が将来に向けて主体的に考え、進路を見通す力を伸ばすことを目指す。

3 育成を目指す資質・能力

知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活や生活習慣に関する基礎的な知識や技能 ・働くための基本的な態度やマナーについての知識
思考力、判断力、表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験を基に考え、将来の生活や進路を選択しようとする力 ・課題や改善策を考え、将来の自分の生活像や働き方を具体的に描き表現する力
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことに関心を高め、社会との関わりを意識しようとする態度 ・社会の一員として、働くことを前向きに捉え、自分の生活を改善しようとする実践的な態度

4 単元の目標

- ・実習の振り返りを通して、職業生活について理解を深めることができる。（知識及び技能）
- ・自らの生き方を考え、進路を主体的に選択することができる。（思考力、判断力、表現力等）
- ・職業生活に必要な健康管理について理解を深め、自分の生活に生かすことができる。（学びに向かう力、人間性等）

5 指導計画【 全8時間 】

次	時	学習内容	評価規準		
			知・技	思・判・表	主
1	2	進路学習（進路決定、働くための心構え） 1年後の自分への手紙 自分のPR		◎	○

2	2	生活習慣について 健康管理、清潔、身だしなみ、人とのつきあい	◎		○
3	2	実習先について 実習の目標、振り返り	◎	○	
まとめ	2 (本時1/2)	将来の生活 自分のゆめみるノート、余暇の過ごし方		◎	○

6 本時の目標

○全体の目標

- ・ 卒業後の自分の将来を考え、「ゆめみるノート」に記入し、それを実現させるために必要なことを具体的に考えることができる。（思考力、判断力、表現力等）

○個々の目標

生徒	これまでの様子	目標
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般就労の清掃業の仕事を希望しており、体力があり積極的に他者に声をかけることができる。 ・ 整理整頓が苦手で、作業後の片付けや持ち物管理に課題が見られる。 ・ 状況に応じた声の大きさの調整が難しく、場の雰囲気に合わせて対応力が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人に声をかける力や体力を生かし、整理整頓や声の大きさの課題を踏まえて、自分の将来像を実現させるために必要なことを具体的に考え、「ゆめみるノート」に記入することができる。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般就労の運送業の仕事を希望しており、明るい性格で、報告・連絡・相談を自分から行うことができるなど、社会性の面での成長が見られる。 ・ 運転免許の取得を目標にしており、その意欲から将来への具体的な見通しをもっているが、漢字の読みに課題があり、読み書きの支援が必要である。 ・ 感情の起伏や体調の安定に課題があり、特にイライラした際の気持ちのコントロールに支援が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るさや報連相の力を生かし、漢字の読みや感情のコントロールの課題を踏まえて、自分の将来像を実現させるために必要なことを具体的に考え、「ゆめみるノート」に記入することができる。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労継続支援 A 型の清掃作業を希望しており、料理や掃除など家庭的な作業が得意で自立的な力が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掃除や料理の得意さを生かし、睡眠や身だしなみの課題を踏まえて、自分の将来像を実現させるために

	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠の不規則さや身だしなみの乱れが見られ、生活リズムの安定が課題である。 挨拶や声かけに努力する姿勢はあるものの自信がもてず、発語の不明瞭さから対人関係の第一歩に支援が必要である。 	<p>必要なことを具体的に考え、「ゆめみるノート」に記入することができる。</p>
D	<ul style="list-style-type: none"> 就労継続支援 B 型の清掃や柑橘の加工の仕事を希望しており、作業への集中力があり、最後まで取り組む粘り強さがある。 いつも笑顔で誰とでも仲良くでき、「仕事が楽しい」という前向きな発言が見られる。 自分の課題に対する自己理解が弱く、自分の課題に気づきにくいほか、体調不良を自ら伝えることが難しいため配慮が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 集中して作業に取り組める力を生かし、体調管理や自己理解の課題を踏まえて、自分の将来像を実現させるために必要なことを、教員と対話しながら「ゆめみるノート」に記入することができる。
E	<ul style="list-style-type: none"> 就労継続支援 B 型の清掃や柑橘の加工の仕事を希望しており、ホテルでの清掃を「楽しい」と感じている。 体力・筋力に自信があり、笑顔で他者に積極的に関わる姿勢が見られる。 一方的に話してしまう傾向があり、相手の話を聞く態度や会話のやりとりに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 人と関わる積極性を生かし、一方的な話し方の課題を踏まえて、自分の将来像を実現させるために必要なことを、教員と対話しながら「ゆめみるノート」に記入することができる。
F	<ul style="list-style-type: none"> 一般就労の病院での清掃業を希望しており、「患者さんのために働きたい」という思いを強くもっている。 優しさと素直さがあり、人のために頑張る姿勢や自己理解の力がある。 体力に不安があり、就労を継続するために体力づくりや食生活の改善が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 人のために頑張れるやさしさを生かし、体力づくりの課題を踏まえて、自分の将来像を実現させるために必要なことを具体的に考え、「ゆめみるノート」に記入することができる。

7 準備物

ワークシート（ゆめみるノート）、ミニホワイトボード、タブレット型端末、TV、HDMI、AppleTV

8 学習過程

学習活動	学習課題 (□) 支援 (・) 評価 (○)						
	A	B	C	D	E	F	全体
1 あいさつ (1分)	姿勢を正し、あいさつをする。						
2 学習の目標と流れ (2分)	本時の流れを知る。						<ul style="list-style-type: none"> これまでの職場実習の写真をスライドで提示し、生徒それぞれの実習の様子を思い出せるようにする。(T1)
3 実習について (8分)	職場実習の写真を見て振り返る。						<ul style="list-style-type: none"> 「誰のための仕事だったか」「どんな役に立ったか」を問いかけ、働くことの意義を実感できるよう促す。(T1)
4 実習の振り返り (10分) (1) うまくできたこと (2) 課題	<ul style="list-style-type: none"> ペアや教師との対話を通して、自分の考えを発言させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本人の言葉の表現を、適切な言葉にして言語化を補う。 	<ul style="list-style-type: none"> 過去に書いた自己PRの長所と短所を参考にしながら新たな気づきにつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 書くことが難しい場合は、発言内容をミニボードに代筆して示す。(T2) 	<ul style="list-style-type: none"> 書くことが難しい場合は、発言内容をミニボードに代筆して示す。(T2) 	<ul style="list-style-type: none"> ペアや教師との対話を通して、自分の考えを発言させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ミニホワイトボードを使うことで、自分の考えを整理しやすくする。(T1) 現在の自分については、実習の自己評価を「うまくできたこと」と「課題」の二つに絞って考えさせる。二枚の吹出しカードに書かせてゆめみるノートに貼る。(T1)

<p>5 将来の自分について (18分)</p> <p>(1) 将来の自分を考える</p> <p>(2) 実現させるために必要なことを考える</p>	<p>人に声をかける力や体力を生かし、整理整頓や声の大きさの課題を踏まえて、自分の将来像を実現させるために必要なことを具体的に考え、「ゆめみるノート」に記入することができる。</p> <p>・「どんな力が必要かな?」「家や学校でできることはある?」等の質問をして考えさせる。</p>	<p>明るさや報道相の力を生かし、漢字の読みや感情のコントロールの課題を踏まえて、自分の将来像を実現させるために必要なことを具体的に考え、「ゆめみるノート」に記入することができる。</p> <p>・絵で描いても、言葉を短くしてもよいなど、表現の仕方を柔軟にする。</p>	<p>掃除や料理の得意さを生かし、睡眠や身だしなみの課題を踏まえて、自分の将来像を実現させるために必要なことを具体的に考え、「ゆめみるノート」に記入することができる。</p> <p>・生徒の様子を見て、必要に応じて支援する。即答を求めず、沈黙の時間も大切にしながら思考の時間を確保する。</p>	<p>集中して作業に取り組める力を生かし、体調管理や自己理解の課題を踏まえて、自分の将来像を実現させるために必要なことを、教員と対話しながら「ゆめみるノート」に記入することができる。</p> <p>・会話の発言の中から本人の強みや課題を拾い、今できる行動として促す。(T2)</p>	<p>人と関わる積極性を生かし、一方的な話し方の課題を踏まえて、自分の将来像を実現させるために必要なことを、教員と対話しながら「ゆめみるノート」に記入することができる。</p> <p>・会話の発言の中から本人の強みや課題を拾い、今できる行動として促す。(T2)</p>	<p>人のために頑張れるやさしさを生かし、体力づくりの課題を踏まえて、自分の将来像を実現させるために必要なことを具体的に考え、「ゆめみるノート」に記入することができる。</p> <p>・「どんな力が必要かな?」「家や学校でできることはある?」等の質問をして考えさせる。</p>	<p>・「ゆめみるノート」を活用して、将来の自分(卒業後)で「こうなっていたいこと」を記入して考えさせる。(T1)</p> <p>・見本を提示し、教師の例を紹介して取り組み方を具体的にイメージできるようにする。(T1)</p> <p>・将来の夢に向かって、現在取り組めることを対話的に引き出す。(T1)</p> <p>・「実現させるためには何ができるようになったらいい?」「自分の良さをさらに活かせるかな?」「今の課題を改善するにはどうしたらいい?」など具体的な質問で導く。(T1)</p> <p>・将来の目標を真ん中に置き、そこから、それに向けた行動を連想的に広げられるようにする。(T1)</p> <p>・本人の内面から出る言葉を待つ姿勢を大切にする。(T1)</p>
--	---	---	---	---	--	--	--

	<p>○人に声をかける力や体力を生かし、整理整頓や声の大きさの課題を踏まえて、自分の将来像を実現させるために必要なことを具体的に考え、「ゆめみるノート」に記入することができたか。</p>	<p>○明るさや報連相の力を生かし、漢字の読みや感情のコントロールの課題を踏まえて、自分の将来像を実現させるために必要なことを具体的に考え、「ゆめみるノート」に記入することができたか。</p>	<p>○掃除や料理の得意さを生かし、睡眠や身だしなみの課題を踏まえて、自分の将来像を実現させるために必要なことを具体的に考え、「ゆめみるノート」に記入することができたか。</p>	<p>○集中して作業に取り組める力を生かし、体調管理や自己理解の課題を踏まえて、自分の将来像を実現させるために必要なことを、教員と対話しながら「ゆめみるノート」に記入することができたか。</p>	<p>○人と関わる積極性を生かし、一方的な話し方の課題を踏まえて、自分の将来像を実現させるために必要なことを、教員と対話しながら「ゆめみるノート」に記入することができたか。</p>	<p>○人のために頑張れるやさしさを生かし、体力づくりの課題を踏まえて、自分の将来像を実現させるために必要なことを具体的に考え、「ゆめみるノート」に記入することができたか。</p>	
<p>6 振り返り (10分)</p>	<p>各自のゆめみるノートを掲示し、お互いに発表を行う。</p>						<p>・「ゆめみるノート」を3人ずつホワイトボードに掲示する。友達の見方で「いいね」と思ったところに、シールを貼らせることで、友達へ関心をもたせ、自分の人生を他の人が応援してくれているという経験から、自己肯定感を高める。(T1)</p> <p>・感想を伝える時は、「良いところを見つけて伝えることを全体で意識させる。(T1)</p>
<p>7 あいさつ (1分)</p>	<p>姿勢を正してあいさつをする。</p>						

9 評価の観点

- ・本時の目標が達成できたか。
- ・研究テーマに関わって、主体的に学ぶ工夫があったか。

10 年間指導計画（省略）

11 教室内配置図

